

食品の安全・安心シンポジウム アンケート調査結果

生活衛生課

1 調査目的

食品の安全・安心シンポジウム参加者のシンポジウムの満足度等を把握し、今後のシンポジウムの参考とするため、ご意見等伺いました。

2 調査対象

調査対象：シンポジウム参加者 82 名

調査方法：記述式

調査日：シンポジウム終了後

回収結果：65 名（79.3%）

3 結果の概要

○シンポジウムをどのような方法で知ったかについては約半数(49.2%)が関係者からの紹介でした。

その他(15.4%)としては、メールマガジンや食品安全対策モニター研修案内のときに知ったという回答がありました。

○シンポジウムの評価については、説明の内容は約 9 割の人が満足(35.4%)、だいたい満足(58.5%)と回答されました。質疑応答・意見交換について、約 6 割の人が満足(13.8%)、だいたい満足(46.2%)と回答され、全体としては、約 7 割の人が満足(24.6%)、だいたい満足 (53.8%) と回答されました。

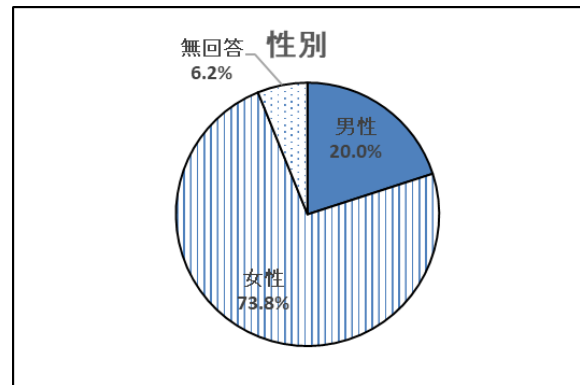
○本シンポジウムで食品に対する不安は減ったかについては、約 5 割の人が減った(15.4%)、やや減った(41.5%)と回答されました。

○今後シンポジウムに参加するとしたらどんなテーマがよいかについては、食品添加物が 1 番多く(24.1%)、次いで輸入食品(19.5%)でした。その他の意見として、HACCP に沿った衛生管理という意見がありました。

4 回答者属性

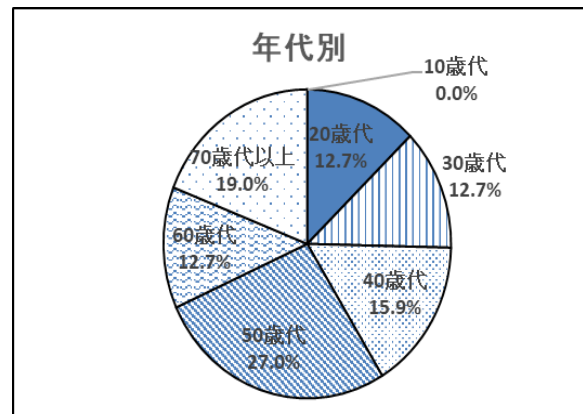
(1) 性別

	人数	割合
男性	13	20.0
女性	48	73.8
無回答	4	6.2
計	65	100.0



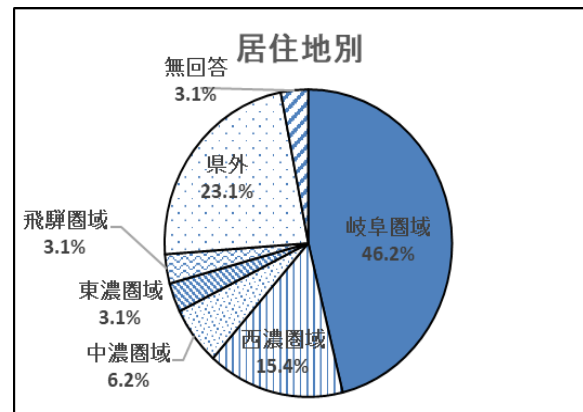
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	0	0
20歳代	8	12.3
30歳代	8	12.3
40歳代	10	15.4
50歳代	17	26.2
60歳代	8	12.3
70歳代以上	12	18.5
無回答	2	3.1
計	65	100.0



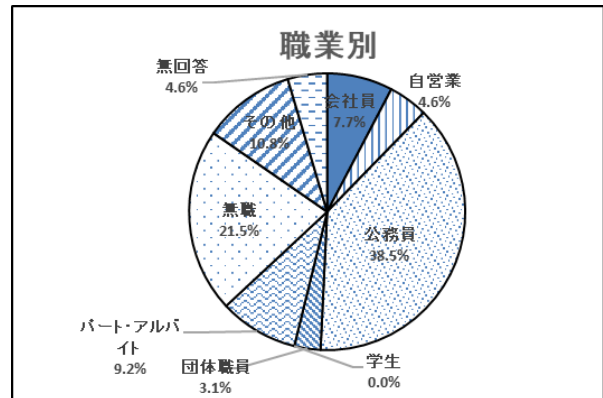
(3) 居住地別

	人数	割合
岐阜圏域	30	46.2
西濃圏域	10	15.4
中濃圏域	4	6.2
東濃圏域	2	3.1
飛騨圏域	2	3.1
県外	15	23.1
無回答	2	3.1
計	65	100.0



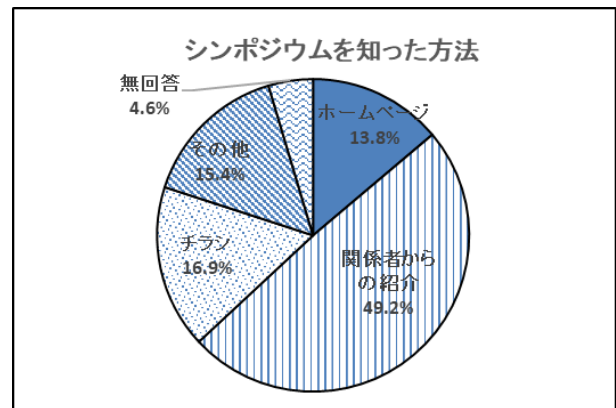
(4) 職業別

	人数	割合
会社員	5	7.7
自営業	3	4.6
公務員	25	38.5
団体職員	2	3.1
学生	0	0.0
パート・アルバイト	6	9.2
無職	14	21.5
その他	7	10.8
無回答	3	4.6
計	65	100.0



(5) シンポジウムを知った方法

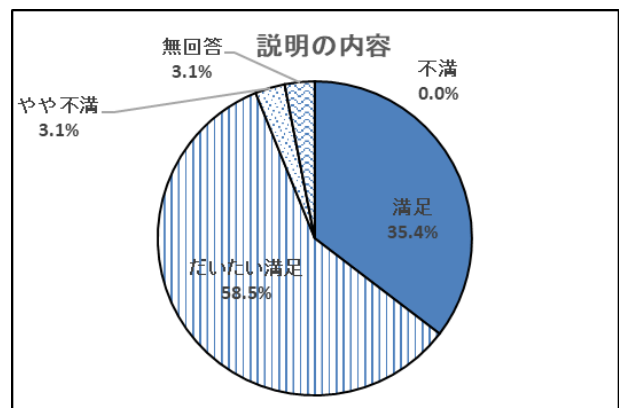
	人数	割合
ホームページ	9	13.8
関係者からの紹介	32	49.2
チラシ	11	16.9
その他	10	15.4
無回答	3	4.6
計	65	100.0



(6) シンポジウムの評価

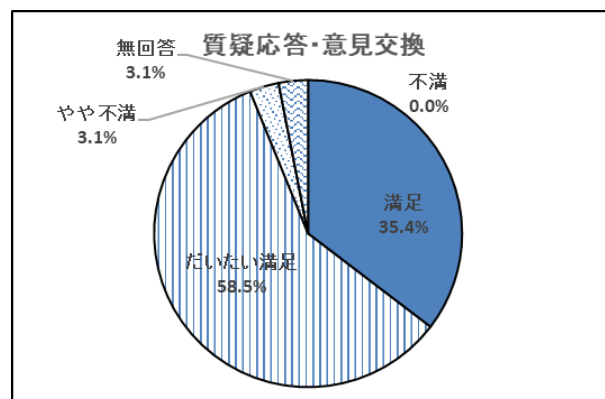
①説明の内容について

	人数	割合
満足	23	35.4
だいたい満足	38	58.5
やや不満	2	3.1
不満	0	0.0
無回答	2	3.1
計	65	100.0



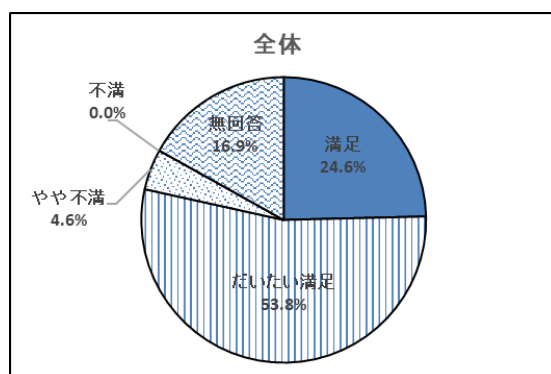
②質疑応答・意見交換について

	人数	割合
満足	9	13.8
だいたい満足	30	46.2
やや不満	7	10.8
不満	0	0.0
無回答	19	29.2
計	65	100.0



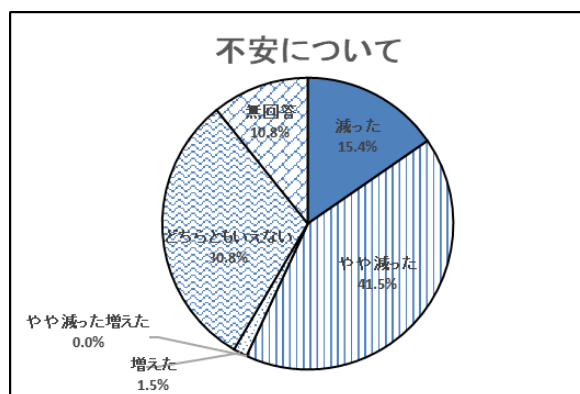
③全体について

	人数	割合
満足	16	24.6
だいたい満足	35	53.8
やや不満	3	4.6
不満	0	0.0
無回答	11	16.9
計	65	100.0



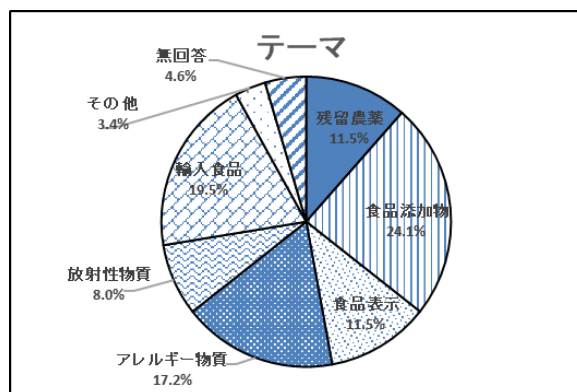
(7) 本日のシンポジウムに参加して、食品に対する不安が減りましたか？

	人数	割合
減った	10	15.4
やや減った	27	41.5
やや減った増えた	0	0.0
増えた	1	1.5
どちらともいえない	20	30.8
無回答	7	10.8
計	65	100.0



(8) 今後、シンポジウムに参加するとしたら、どんなテーマがいいですか？(複数回答)

	人数	割合
残留農薬	10	11.5
食品添加物	21	24.1
食品表示	10	11.5
アレルギー物質	15	17.2
放射性物質	7	8.0
輸入食品	17	19.5
その他	3	3.4
無回答	4	4.6
計	87	100.0



【その他意見】

- ・ルールに則った商品表示があるおかげで、消費者は安心して食品を選択することができることを感じました。
- ・今後は、食品を購入する際に、栄養成分表示をチェックし、バランスの良い食生活を送りたいと思いました。
- ・消費者側に立った表示法であることがよく分かったので、日々の生活の中で、自分の為、家族の為、町民の為にも食品表示を参考にした生活をしていきたいと思いました。
- ・消費者の立場、事業者の立場が分かり、食品を手にとるときに、すぐく参考になりました。

【シンポジウムの様子】

